

北炭新幌内砒坑口/三笠市



～三度のガス爆発の末の大炭鉱～

北炭新幌内砒は、1925（大正14）年に日支炭鉱汽船（株）により掘削を開始し、1931（昭和6）年に昭和鉱業（株）に引き継がれました。三度のガス爆発に遭いながら1934（昭和9）年に出炭を開始し、その後4年で年産45万トンの大炭鉱に成長しましたが、資金や鉱区の制約から1941（昭和16）年に北炭に吸収合併されました。

昭和鉱業時代の坑口や、斜坑巻原動機が置かれていた基礎が残っております。この坑口は、1967（昭和42）年の幌内砒との統合まで新幌内砒の主力坑口でした。幌新統合後は、北炭系列の北斗興業（株）が北炭から鉱区を譲り受けて新三笠炭鉱として二次利用していたため、1973（昭和48）年の閉山にあたって密閉坑口には「新三笠炭鉱」と表記されました。

住所	〒068-2132 三笠市唐松緑町
公開状況	見学不可（散策道が未整備のため）
アクセス （自動車）	札幌から約50km 約41分 【道央自動車道 三笠IC降 約17分】
アクセス （公共交通機関）	札幌から約1時間12分 JR函館本線 岩見沢駅降車～中央バス 唐松1丁目バス停降車
問い合わせ	三笠ジオパーク推進協議会 電話：01267-2-3997 E-mail：mikasa.geopark@gmail.com
URL	http://www.city.mikasa.hokkaido.jp/geopark/